

まつもと やすみ
ジョブエール 松本 保美 社長 (50)



【ジョブエール】2010年4月設立。「オーダーメイド指導」を掲げ、大学生らの就職支援に取り組む。「リクルート・カフェ」など行政の企画や就職ガイダンスで講師も務める。静岡市葵区伝馬町10の9

【静岡県中部未来懇話会】正会員は県中部地域を中心とした企業、各種団体、個人。特別会員として県、市町の首長・職員、議会・議員。研究部会による調査・研究、地域問題討議会などを通して10年後の中部地域の姿を描き、政策提言活動を行う。問い合わせは同懇話会〈電054(254)0295〉へ。

「成長企業」に人材投入

学生就職支援から地域経済の現状をどうみるか。

「新卒採用の状況から見ると、大企業は徐々に積極的になってきたが、中小レベルでは大きな動きが顕在化していない。業種間格差もあり、介護・福祉などは人手が足りない半面、輸

出関連の製造などはまだ厳しいのが実態だ。来年春の消費増税で景気がどうなるのか、企業側がどうなるのか、企業側も今の時点でトレンドを読み切れていないのでは」

— 県中部地区の雇用拡大には何が有効か。

「雇用吸収が可能な産業を育てる必要がある

— 地域経済活性化のため、どんな人材の育成を

「富士山の世界遺産登録で外国人客の増加が見込まれる観光業がその一つ。付加価値の高いサービス業は機械化できない。新しいイノベーションで雇用を創出することも重要だろう。行政は産業育成、マッチングなどの支援に積極的に取り組んでほしい。産学官の連携を強化して新しい産業を起こしていくべき」

「県中部地区にも独自のビジネスモデルを掲げ、海外進出や事業拡大を目指す企業は多い。そんなユニークな会社に、独立心を持った優秀な若者たちを送り込みたい。一般的に、学生は安定的で、名の知れた大企業を選びがち。新卒者の多くが、県内には残らず、他県に流れていくという実態がある。仕事を通じて、社会とどう向き合っていくかを考える本来のキャリア教育を実践していきたい」

10年後への提言

県中部未来懇話会

●●40

目指すのか。